

地盤工学会関西支部では、「地域に在住する一般市民や小中高校生をはじめとする学生の皆様を対象に、地盤に関連する様々な事柄について興味と関心を持っていただき、地盤工学に関する理解を深めていただく」ことを目的に様々な活動を展開しています。参加費はすべて無料です。ご興味のある方は是非ご利用ください。詳細はホームページ (<http://www.jgskb.jp/kouhou/>) をご覧ください。

学生対象現場見学会

工業高等専門学校や工業高等学校の生徒達に地盤工学に興味を持ってもらうため、トンネルや基礎構造物の建設工事の見学会を開催しています。見学先は支部ホームページに掲載のリストから選んでいただけます。

近年の見学先の例は右表の通りです。見学先の最新状況、交通手段や工事概要、受入可能時期、受入れ人数などの詳細は支部ホームページを参照下さい。



近年の見学先の例

①	新名神高速道路枚方工事
②	新名神高速道路天神川橋（大津～城陽間）
③	新名神高速道路大津大石トンネル工事
④	阪急京都線・千里線淡路駅周辺連続立体交差工事
⑤	泉佐野岩出線田尻カブクリッジ耐震補強工事
⑥	天ヶ瀬ダム再開発トンネル放流設備建設工事
⑦	安威川ダム建設工事
⑧	北陸新幹線 金沢～敦賀間高架工事
⑨	狭山池ダム・大阪府立狭山池博物館
⑩	淀川左岸線 海老江工区開削トンネル工事

市民講演会

自分たちが住んでいる地域の地質や地盤に関係する身近なテーマについて専門家に分かりやすくお話していただく講演会を定期的に開催しています。自治体との共催で実施しており、近年は特に関心の高い地震と減災に関するテーマを取り上げています。（新型コロナウイルスの影響により休止中）。

2018年度	行事名	奈良県桜井市防災講演会「災害にどう備えるか～地域を知って確かな防災力を～」	
	日程・会場	平成31年2月17日（日） 桜井市立図書館	
2017年度	行事名	第21回 和泉市防災とボランティア市民の集い	
	日程・会場	平成30年1月20日（土） 和泉市コミュニティセンター	
2016年度	行事名	平成28年度滋賀県防災講演会	
	日程・会場	平成28年9月25日（日） みずほ文化センター多目的ホール	
	演題・講師	「桜井市の地盤と自然災害」 「今できること～熊本地震の経験から」	大阪教育大学名誉教授 菅野耕三 熊本県宇土市長 元松茂樹
	演題・講師	「和泉市の地盤と自然災害」 「みんなの協働で、災害から命を守ろう」	大阪教育大学名誉教授 菅野耕三 神戸防災技術者の会 片瀬範雄
	演題・講師	「活断層地震・南海トラフ地震による滋賀県内への影響」 「あなたは自然災害に備えていますか～阪神淡路大震災から学んだこと～」	京都大学 竹村恵二 神戸防災技術者の会 片瀬範雄

ふるさと地盤診断ウォーク

秋の一日、地質学や地盤工学の専門家を案内役に、現地で見られる地層や断層の説明、簡易顕微鏡による岩石のなどを行いながら、ハイキング気分でウォーキングをします。ふるさと地盤の成り立ちと起こりうる地盤災害のパターンなど、参加者に役立つ防災情報も現地を見ながら解説します。近年の開催コースは以下の通りです。

奈良若草山コース	2019年 11月2日(土)	古都奈良の社寺を見学しながら、大和高原から奈良盆地にかけての扇状地とその変位の様子を観察しました。
大阪街歩きコース	2019年 11月16日(土)	北浜～大阪駅周辺の古い写真とともに、大阪駅周辺に残る昔と開発について、現地を歩きながら学びました。
京都西山丘陵コース	2021年 11月20日(土)	京都南西部・櫻原断層の活動によって形成された西山丘陵の地形・地質と竹林の様子を観察しました。



出前授業

一人でも多くの皆さんに地盤をこよなく愛し、かつその大切さを知っていただくことを目的に、小中高校生向けの総合学習や授業の1コマとして、あるいは一般向けの市民講座や講習会などへ授業の出前を行います。出前して下さる先生方は、地盤工学会の会員で地盤や地質の専門家です。以下にテーマ例を示しますが、これら以外もご希望の内容に沿って講師の先生を派遣します。まずは、ご相談ください。オンライン授業も開催可能です。

- 村人とともに世界の道を直す
- 地盤の液状化－そのメカニズムを考える
- 京都 地下に眠る千年の水脈
- 大阪平野のおいたち
- 大阪の地盤と自然災害
- 月面開発と地盤工学
- 地震発生のメカニズムと防災対策
- 「工学」ってなに？－これからの技術者、地盤工学を例として－
- 地下空間の利用
- 理科の単元学習：「大地のつくり」「ながれる水のはたらき」など
- 防災教育のための模型実験

